

第 27 回 全国高等学校女子硬式野球選手権大会特別規則

本規則は、野球規則を前提に、全日本女子硬式野球内規および全日本女子硬式野球規則に基づき、今大会における選手権大会特別規則となります。

【1】大会運営に関する規定

1. 試合球は、ミズノ社製を使用する。
2. 使用ベンチは、トーナメント表の数字が若いチームが一塁側とする。
3. ベンチ入り人数は、指導者（チーム責任者・監督・コーチ・トレーナー）及びマネージャーなどの5名以内と大会出場選手登録されたプレーヤー11名以上、25名以内の計30名以内とする。
4. 審判員は、予選トーナメントは3人制、決勝トーナメントは4人制とし、大会審判部が担当する。
5. 試合の7回を終了した時点で同点の場合、タイブレークを適用する。ただし、準決勝、決勝戦は9回まで延長し、なお同点の場合、タイブレークを適用する。
6. 雨天等で試合成立前に続行が困難となった場合、継続試合とし翌日の第一試合に組み込む。
7. 試合が成立する規定回数は5回とする。
8. 5回終了以降で、7点以上の得点差がある場合、コールドゲームを適用する。ただし、準決勝、決勝戦はコールドゲームを適用しない。

【2】競技運営に関する規定 ※下線網掛け部分が昨年から追加になります。

1. メンバー表の交換
 - (1)開会式当日の「つかさ球場」と「淡路佐野運動公園両野球場」の第一試合は、開会式開始30分前に、「ブルーベリースタジアム春日」第一試合は試合開始予定時刻1時間前、それぞれ第二試合以降は、3回裏終了後直ちに大会本部に提出する。
 - (2)それぞれ二日目以降の第一試合は、試合開始予定時刻1時間前、第二試合以降は、3回裏終了後直ちに大会本部に提出する。
2. 先攻・後攻の決定は、メンバー表交換時に両チームの監督（監督の都合が悪いときは、責任教師またはコーチ）及び主将が出席し、審判員立ち会いのもとジャンケンで決定する。
3. 高校の全国大会の背番号は1番から99番とする。
4. 監督、コーチは背番号を付けること。
5. 選手の交代を審判員に告げるのは監督が行う。
6. 監督、コーチ（伝令を含む）はタイムをとってマウンドに行くことができる。
7. ベースコーチは、試合登録された監督、コーチまたは選手が行う。
8. 試合中、攻撃側選手に不慮の事故などが生じ、一時、走者を代えないと試合の中断が長引くと審判員が判断した時は、相手チームに事情を説明し、臨時代走を許可することができる。
9. 次打者は速やかにネクストバッターズサークルで待機する。その際の姿勢は自由とする。
10. 次打者以外はベンチ内で待機する。ただし、素振りやキャッチボールを命じられた選手は指定場所で行うことができる。
11. ベンチ前でのキャッチボールは禁止する。
12. 投手の準備投球は5球以内、または3アウト後、90秒が経過して「ワンモアピッチ」とする。
13. 次試合チームのブルペン使用は、試合中のチームが使用している場合を除いて、4回以降の使用を許可する。
14. 申告敬遠を採用する。
15. 給水のため要求したタイムはカウントしない。
16. 出場選手が、太陽光線による危険防止や目の病気などの身体的理由のためのサングラスの使用を認める。ただし、著しくレンズが反射するサングラスの使用は認めない。また、サングラスを目に着用せず、帽子にのせるなどの行為は危険を伴うため一切認めない。
17. 試合前に審判員が両チームの用具点検を行う。

以上